

がまがえるの聖地へ編集する

2007 年 08 月 27 日 19:20 友人の友人まで公開

1 view



なぜに、がまがえる...!?

まあ、深いことは考えず...

一時帰国していた Liangzi & AKesh くん(1 歳)に会いに、
筑波山へれっつだごー。

《写真 1》

がまの油売りの口上。(筑波山神社の境内にて)

筑波山は、「がまの油」(塗り薬!?)で有名。

初めて見たけど、そういえば、その昔父親も

「1 枚が 2 枚、2 枚が 4 枚、4 枚が 8 枚.....」

なんて言ってたのを、ふと思い出したような...

《写真 2》

がま石。このがま石の口の中に石ころを投げて入れば、

お金持ちになるとか。こうなったら入れるしかない!!

(⇒3 回目で入りました。)

《写真 3》

筑波山(女体山)山頂より。

山頂からは、つくばの街並み & 関東平野が一望!!

これ、がまがえるからのプレゼント!?

※写真 1 と 3 は、Liangzi の写真を拝借しました m(____)m

Liangzi といえば筑波山、筑波山と言えば Liangzi。
というくらい、おれの中で二つの関係は結びついている。
今回はその筑波山に、超自然派に生きる Liangzi & zhangzi、
山の会フレンズの RYU さん & mingQ とともに行ってきました。

筑波山は低山(標高約 860m)とはいえ、登山道はわりと急峻。
しかも「夏の低山＝暑い」という公式が成り立つわけで、
登山道では思っきり汗だくになりつつ…。

みんな元気に、1 時間 15 分で山頂に到着。
山頂付近の木陰のベンチでは心地よい風が吹いていて、
ここでみんなでお弁当を食べました～。

その休憩場所から女体山山頂を目指して、歩くこと 10 分。
その間 Akesh くん、わざと道の真ん中にある小さな岩
(Akesh くんにとっては巨大な岩!?)に乗っかろうとしながら
歩く姿がかわいかったなあ。きっと彼には大冒険!?

そして山頂からの景色は、予想以上に開けていた。
田んぼや畑の多い、青々としていた関東平野。
以前来たときは、曇っていて何も見えなかったけど、
なんだか急に、「山に来たー」って気分を味わえました。

晴れた筑波山は、かなりオススメです。

そして帰りはケーブルカーで下山し、温泉で、ふうー。

今思えば、結局本物のがまがえるは見なかったけど、
(でも、しっぽが青と銀色で光るトカゲを発見!!)
がまがえる様、楽しい一日を、どうもありがとう!!

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*

子供と一緒に、ゆつくりと山を楽しむ Liangzi。
なかなかいいなあ。

そして、ファミリー登山っていいなあ。
と、Liangzi & Akesh くんを見ながら、
イメトレしておく今日のこの頃。
(→その前にまず、子供を作らねば...。)

• [コメント](#)